

## 自立活動 「ユニバーサルデザインを考えよう」学習指導略案

### 1 対象

高等部

### 2 指導の形態

通常教室（人数に合わせて特別教室にて実施）

### 3 指導の目的

- 1) ユニバーサルデザイン（以下、UD）について理解する。
- 2) デフスペース（以下、DS）について理解する。
- 3) これから必要となるユニバーサルデザイン及びデフスペースについて、考えることができる。

### 4 指導にあたって

- ・UD 及び DS について、身近なものと感じることができるよう、身近な環境（学校及び生活空間）にあるものを題材にすると良い。
- ・グループ討議に進む際には、一人一人が考えを持ち、議論することができるよう、課題設定に応じた学び合いの場・手法を選択すると良い。今回は Think-Pair-Share\* の手法を用いる。

### 5 本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容（留意事項及び配慮事項）	評価の観点
導入	UD クイズに取り組み、学習内容を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UD クイズを何問か提示し、身近なものであることを気付かせる</li> <li>・学習課題を提示する</li> </ul>	
展開	UD について理解する ワークシート①に取り組み 映像とスライド内容から、それぞれの特徴をつかむ ワークシート①に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを元に UD について解説する</li> <li>・ワークシート①を配布し、身近にある UD について気付いたことを記入する</li> </ul> <p>※映像視聴 「筑波技術大学におけるユニバーサルデザイン」 &lt;0:30～2:08&gt; 約1分40秒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像視聴後にスライドを元に、DS について解説する</li> <li>・ワークシート①の3まで記入する</li> <li>・記入した内容を全体で共有する</li> </ul>	自分の考えをまとめられているか【ワークシート】 映像内容に興味を持ち、集中して視聴しているか【観察】
まとめ	ワークシート②に各自取り組む ワークシート①の4について、自校の環境改善と、社会の中での UD・DS について考えをまとめ、共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート②を配布し、デフスペース作りに各自取り組ませる</li> <li>・どう工夫したのか、合わせて考えさせる</li> <li>・自分の考えをまとめ、ワークシートに記入したあと、二人ペアになって意見交換するよう指示する</li> <li>・ペアでの意見交換後、全体で共有し、各ペアのどちらかから発表してもらい、まとめとする</li> </ul>	自分の考えをまとめ、発表しているか【発表】 相手の意見を聞き入れているか【観察】

### 6 参考・引用文献

- ・「筑波技術大学におけるユニバーサルデザイン」，ろう者学教育コンテンツ開発プロジェクト，デフスタディーズウェブサイト，<https://www.deafstudies.jp/info/vidarc/>
- ・「ユニバーサルデザインへの取組」，日本航空，<https://www.jal.com/ja/ud/index.html>
- ・「聴覚障害者への情報保障環境」，筑波技術大学 HP，[http://www.tsukuba-tech.ac.jp/department/it/amakubo\\_environment.html](http://www.tsukuba-tech.ac.jp/department/it/amakubo_environment.html)
- ・”DEAFSPACE”，GALLAUDET UNIVERSITY，”CAMPAS DESIGN AND PLANNING”，<http://www.gallaudet.edu/campus-design-and-planning/deafspace>

**\* Think-Pair-Share**

「①課題を設定②各自で課題について考える③ペアになり共有する（人数と時間に応じて④グループセッション）⑤全体で共有する」の流れで行うアクティブラーニングの技法。明確な課題設定と適切な難易度の設定がポイント。

作成：宮町 悦信（2015年）

編集：ろう者学教育コンテンツ開発取組担当